

令和 7 年 11 月 6 日 掛川市副市長

1 令和 7 年度 掛川市地域防災訓練について

- ・今年度の地域防災訓練は、掛川市防災訓練三カ年計画に基づき、「自主防災会を中心とした広域避難所の運営」を目標に掲げ、広域避難所の運営訓練や地域の防災訓練を重点的に実施します。
- ・訓練では、避難所の立ち上げから避難者の受け入れ、運営体制の構築までを実践的に行い、8 月の総合防災訓練で見つかった課題を早期に改善するとともに、大規模災害時に避難者を収容する広域避難所の運営能力を迅速に向上させることを目指します。地区、自主防災会及び市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【主な訓練内容】

①広域避難所運営訓練

(ア) 広域避難所の立ち上げ

- ・グラウンドへの参集・区ごと振り分け、建物の安全確認・応急危険度判定、避難所開設の準備（ベッド、パーテーション、受付、必要書類等）、情報伝達訓練 など

(イ) 広域避難所の運営

- ・避難者の受け入れ及び誘導、各班ごと運営マニュアル・アクションカードを使用した避難所運営の実施 など

②《自助》各家庭での実施項目

- ・各家庭の防災対策（備蓄品等）の確認、防災ガイドブックの「家庭の避難計画」の見直しなど

③《共助》自主防災会の訓練

- ・各自主防災会で計画した訓練を実施

2 令和 6 年度 決算報告について

- ・市議会 8 月定例会において、令和 6 年度一般会計、特別会計、企業会計の決算が認定されました。令和 6 年度は、主に「海岸防災林強化事業（防潮堤整備）」「子ども医療費助成事業」「22 世紀の丘公園たまりーな屋内遊び場（mirocco）等整備事業」「同報無線設備更新事業」などを実施し、一般会計の歳入と歳出の差額は約 15 億 7 千万円となりました。
- ・法律に基づく 4 つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出したところ、いずれの数値も基準を下回っています。市の財政は健全であると言えますが、今後、新廃棄物処理施設整備など大規模事業が控えていますので、引き続き財政の健全化に努めてまいります。

【一般会計の決算額】

会計/区分	歳入	歳出	差引
一般会計	579 億 9,781 万円	564 億 2,575 万円	15 億 7,206 万円

3 11 月補正予算（案）の主要事業について（※11 月議会に議案提出）

- ・補聴器購入費助成事業費（補正額：280 万円増）
補聴器の利用を促すことで家庭内での孤立防止や外出促進に繋げ、認知症予防を図る高齢者等補聴器購入費助成事業について、申請が当初の見込みを上回るため増額します。
- ・小・中学校施設管理費（補正額：3,377 万 5 千円増）
令和 8 年度学級編成見込みにおける学級増などに対応するため、補修工事費を増額します。

4 その他

- (1) 市長定例記者会見の内容について ～市ホームページにてご確認ください～
右の QR コードから「市長定例記者会見」の内容をご確認ください。
- (2) 風水害・地震・津波対策寄附金状況 ～ご協力ありがとうございます～
157 件 55,545,505 円（11 月 4 日現在まで）※前月まで 53,545,505 円
- (3) 松ヶ岡プロジェクト寄附金状況 ～ご協力ありがとうございます～
571 件 69,141,177 円（10 月 31 日現在まで）※前月まで 69,136,194 円
- (4) ゼロ・ウェイストに向けて、ごみ減量進行中 ～ごみ分別へのご協力ありがとうございます～
令和 7 年 9 月のごみ搬入量 1,843 トン ※前年同月比 0.3%増（6 トン増）
右上の QR コードからごみ減量の傾向についてご確認ください。





掛川市施策について シティプロモーション分野

令和7年11月6日

掛川市 副市長 大井敏行

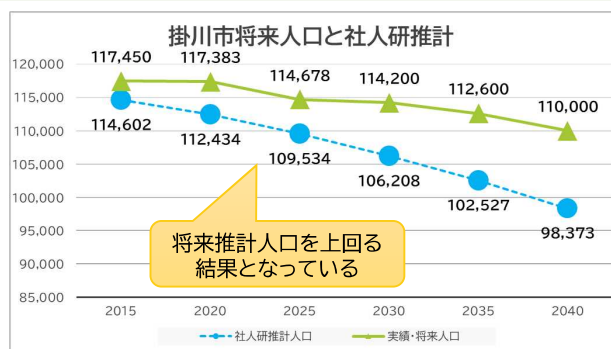


© 掛川市 2024

掛川市の現状（人口・観光交流客数・移住）



①人口の推移



②観光交流客数

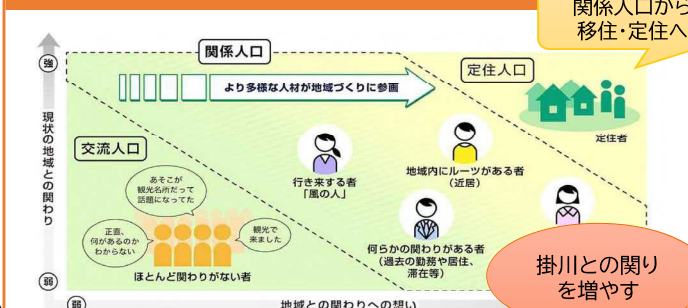


③シティプロモーション推進の課題

認知度の低さ
具体的な「まちのブランドイメージ」の確立
地域コミュニティに参画する手段が限定的
地域内移動手段が限定的
まちなかの賑わいの不足
買い物場所やリクリエーション施設の充実

<掛川の魅力>
報徳・生涯学習・市民力の高さ
市民の生活満足度の高さ
歴史文化、自然環境(茶畑、遠州灘)など

④関係人口の創出





戦略の具体的内容

①まちの目指す姿の形成 (ブランドイメージの形成)

- ▶シティ・アイデンティティの確立
- ▶ブランドイメージの可視化
- ▶ブランドメッセージ・ロゴマークの浸透、活用促進によるまちの目指す姿の形成
- ▶ブランドメッセージが描くまちの実現に向けた政策形成

②市民参画の拡大

- ▶地域資源の再発見
- ▶地域資源の磨き上げ
- ▶魅力(地域資源)の拡散

③協働力による情報発信 の強化と売り込み

- ▶メディアミックスによる効果的な情報発信と売り込み
- ▶協働力による効果的なメディアを活用した売り込み

④行政のプロモーション機能の強化

- ▶庁内におけるブランドメッセージ・ロゴの浸透、活用
- ▶各課における市民参画・情報発信に向けた取組支援
- ▶各課におけるプロモーション方針の検討

⑤シティプロモーションを支える担いづくり

- ▶市民、産学・行政等との連携
- ▶著名人による情報発信への参画



「まちのブランド」を構築

© 掛川市 2024 公開文書 3

掛川市のシティプロモーション取り組み



平成29年度

「シティプロモーション課」の立ち上げ(4月)
掛川市ブランドメッセージの市民投票により決定
インターネット及び投票箱による市民投票

平成30年度

掛川市シティプロモーション推進計画策定(5月)
シティプロモーションの方向性及び方策を示す戦略を
として策定する。
シティプロモーション市民協働会議交流会(7月)
「市民協働会議」の活性化と連携推進、相互交流を実施する。

平成31・令和元年度

ブランドメッセージロゴマーク決定(5月)
ブランドメッセージシンボルとして魅力発信

令和2・令和3年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業縮小

令和4年度

シティプロモーション推進事業(アニメまちおこし事業)
「シュート！」放映化に合わせ、プロモーション事業を実施

令和5年度

PR動画「心を奏でる街、掛川」制作(R6. 3)
掛川市の新たなPR動画を製作し、公式Youtube配信を開始する。

令和6年度

フィルムコミッション活動(テレビや映画の撮影誘致)
R6年度 10件誘致

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。



© 掛川市 2024 公開文書 4

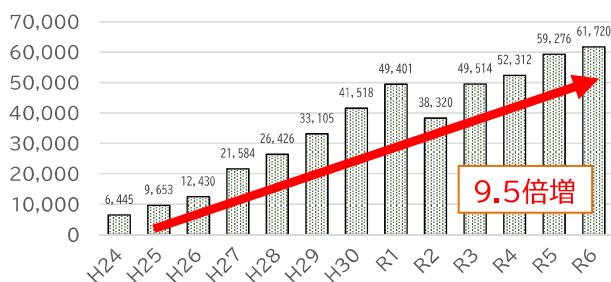
地方創生(移住)から見るシティプロモーションの成果



①大都市圏からの移住需要

- ・移住相談件数は、10年前と比べ **9倍以上**に増加
- ・静岡県が**4年連続1位**
多くの年代から人気 アクセスや利便性の高さ
市町の移住相談担当との連携、相談会などが評価される

移住相談件数の推移



移住希望地ランキング(東京)

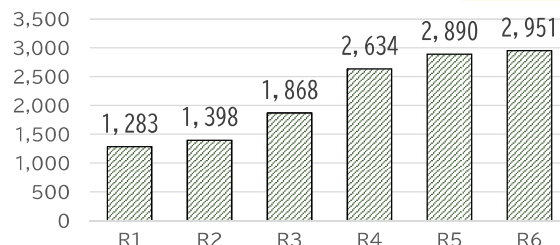
	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1位	長野県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	群馬県
2位	広島県	山梨県	福岡県	長野県	群馬県	静岡県
3位	静岡県	長野県	山梨県	栃木県	栃木県	栃木県

NPO法人ふるさと回帰支援センター調べ

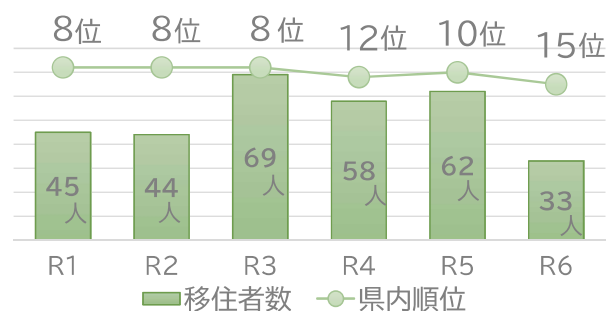
②静岡県、掛川市の移住状況

静岡県内移住者数の推移

移住者(世帯主)年代
20代~40代が80%



掛川市移住者数・県内市町順位



市の相談・支援を受けて
県外から移住した人数

今後のプロモーション展開



①関係人口の更なる創出

保育園留学

1~2週間家族で地域に滞在し、掛川のリアルな暮らしを体験。将来的な移住定住につなげる。



②インバウンド体制の強化

訪日外国人の受け入れにより、まちの活性化を図る。

- ・外国人向けコンテンツの整備
- ・ここにしかない特別な体験ができる場所



③移住定住

様々な移住施策により移住定住者の増加を目指す。

- ・移住フェアへの出展
- ・移住相談会の充実
- ・移住ツアーの実施
- ・移住コーディネーターとの連携
- ・情報発信



④人流データの活用

人流データ・スマホアプリの利用者から同意を得て取得する位置情報データ。(性別や年代)

R7年度システム導入(7月)
イベント、観光、防災など様々な分野で横断的に活用中。

